

高松市生涯学習センター 生涯学習カレッジ（個人の生活に役立つ講座）

「おうちで楽しむ おひるねアート 1day 講座」

～赤ちゃんと楽しみながら、赤ちゃんの今を可愛く残そう！～を開催しました。

平成30年10月28日（日）、一般社団法人 日本おひるねアート協会認定講師・フォトグラファー 大西 加奈さんを講師に迎え、「おうちで楽しむ おひるねアート 1day 講座～赤ちゃんと楽しみながら、赤ちゃんの今を可愛く残そう！～」を開催しました。

初めに一人ずつ自己紹介をした後、歌とベビーマッサージで場所に慣れてリラックスできる時間を作りました。

そのあと、おひるねアートについての説明がありました。おひるねアートとは、「赤ちゃんに背景や小物をつけて撮影する、赤ちゃんと一緒に作るアート写真」です。

コンセプトは

- 赤ちゃんの寝顔も笑顔も泣き顔もかわいく残す
- おうちの中のものを小道具に使う
- 昼間の自然光の下で撮影する です。

早速、赤ちゃんのありのままの姿を残すことをテーマに写真撮影の準備です。まず、シングル布団程度の大きさの自然の色（水色、白、緑等）の布で背景を作ります。

次にさし色として黄色やピンク、赤など花や蝶々などを入れます。そこに小物を置いていきます。小物は思い出の物や折り紙で作ったガーラント、ペットボトルのふた、リボン、端切れ、手芸用の綿など工夫次第で楽しい背景が作れます。



今回は季節に合わせて、紅葉した木にブランコを配置した背景にしました。毛布で芝生、バスタオルで樹、フェルトで葉っぱを作りました。

背景ができたら撮影です。撮影は椅子などに乗って、できるだけ真上から撮ります。撮影者の影が入らないようにすること、直射日光が当たらないなど撮影場所にも気を付けます。

ブランコの背景での撮影に続いて、ハロウィンの時期でしたので、講師が用意してくれたハロウィンの背景で魔女や魔法使いのコスチュームを着て撮影しました。

コスチューム選びも楽しい時間になりました。

最後に大西さんから「お昼寝アートの楽しみは①作る楽しみ②撮る楽しみ③見る楽しみ④残す楽しみがあります。身近なものを工夫して、ご家族みなさんと楽しい時間を共有できる場になって欲しい」とのお話をいただきました。

